2026年11月9日

福島、その先の環境へ。 データでみる福島再生

最近の動き

○除染等工事の進捗状況

・特定帰還居住区域では、大熊町、双葉町、浪江町、富岡町、南相馬市において除染・解体を実施しています。2026年9月末時点で、約856haの除染を完了しました。

○除染仮置場等の状況（福島県内）

・仮置場等総数1,372箇所のうち、11箇所で除去土壌等を保管中、1,361箇所で搬出が完了し、1,316箇所の仮置場で原状回復が完了しました。

○中間貯蔵施設の整備の現状

・除去土壌の分別処理を行い、10月末時点で、約1,201万㎥（輸送量ベース）の土壌を土壌貯蔵施設に貯蔵しました。

・廃棄物の焼却及び焼却灰の灰処理を行い、10月末時点で、灰処理ばいじんを封入した鋼製角形容器39,447個を廃棄物貯蔵施設に貯蔵しました。

○中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送の進捗状況

・2026年10月末時点で、約1,451万㎥の除去土壌等（帰還困難区域を含む）を中間貯蔵施設へ搬入しました。

○中間貯蔵施設用地の状況

・用地取得については、10月末時点で契約者数1,990人、面積約1,321haについて契約しております。

○国直轄による特定廃棄物の処理進捗状況

・特定帰還居住区域の解体申請を受付中（4町）です。

・被災家屋等について、9月末時点で、約19,700件の解体申請を受付済であり、約18,900件を解体済です。

・対策地域内廃棄物等の処理について、9月末時点で約34万トンが埋立処分済、約62万トンが焼却処理済です。

・福島県内の指定廃棄物については、9月末時点で約50万トンを特定廃棄物埋立処分施設等で処分、中間貯蔵施設で保管または仮設減容化施設で処理等しています。

○国直轄による対策地域内における仮設焼却施設の焼却処理状況
・9月末時点で、約164万トン（除染廃棄物を含む）を各仮設焼却施設で処理しました。

○クリーンセンターふたばの埋立状況
・9月末時点で、41,741袋をクリーンセンターふたばに埋め立てました。

○特定廃棄物埋立処分施設への埋立状況
・10月末時点で、297,029袋を特定廃棄物埋立処分施設へ埋め立てしました。
・特定廃棄物埋立処分施設への特定廃棄物の埋立ては、2023年10月31日が最終埋立日となり、無事終了しました。

○放射線に関するリスクコミュニケーション活動状況 （１０月実施）
・放射線リスクコミュニケーション相談員支援センターにおいて、研修会を1回、専門家派遣を2回、住民セミナーを5回、車座意見交換会を1回、放射線教育の支援を12回実施しました。
・環境再生プラザにおいて、専門家派遣を13回、移動展示を5回（5日）実施しました。
・原子力安全研究協会において、内部被ばく検査（WBC）を14回（14日）実施しました。
・大学などと協働して放射線や福島の環境再生に関する講義を5回実施しました。

○帰還困難区域等における鳥獣の捕獲状況
・2026年度の捕獲数は、10月末現在でイノシシ323頭、アライグマ232頭、ハクビシン31頭となっています。